平成２７年度　事業報告

兵庫セルプセンターが発足して 12 年目を迎え、開設以来のスローガンである「障害がある人の働く願いを社会につなぐ」ことをスローガンとし、兵庫県委託事業・神戸ふれあい工房店舗運営・障害福祉サービス事業「マイ・ワークＳＥＬＰ」と連携した販路拡大等の中間支援機能の強化と安定的な運営基盤の確保を目指した活動を行った。中でも、前年度からの課題改善として、下記 3 つ事項を強化して推進した結果、法人全体での業務効率化に一定の成果があった。

- ●事務局体制を変更し、法人本部内の販売セクション（マイ・ワーク SELP）と連携した商品・サービス等の販路拡大推進。
- ●法人本部・店舗・事業所等の情報共有や事業の連携強化。
- ●法人本部で各事業推進に伴う資金管理、各拠点での実績管理。

1　しごと開拓・受注窓口機能・商品等の販路拡大

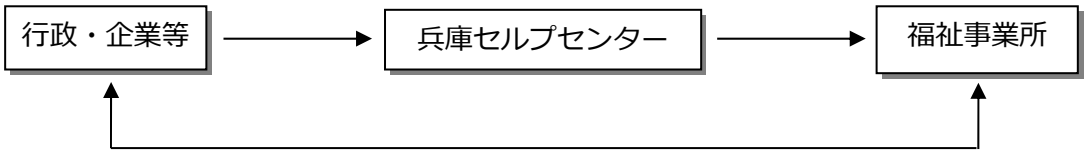
■平成２７年度実績	**48,554,417 円**		
役務等売上	25,093,708 円	店舗売上	3,179,749 円
外販バザー	1,542,768 円	外商売上	16,250,032 円
その他	2,488,160 円		

（1）しごと開拓・受注窓口機能

年度を通じて行政機関や一般企業への授産活動の周知、しごと確保のための提案、営業活動を実施した。今年度は、兵庫セルプセンターが開拓した案件の契約主体として機能を果たすばかりでなく、しごと開拓の窓口機能と受注調整機能も果たし、障害福祉サービス事業所が契約主体となる案件を確保することで障害福祉サービス事業所の工賃アップ及び自立的運営を加速させて行くために、兵庫県圏域の地域調整窓口との連携協力も行った。

～　① 兵庫セルプセンターが契約主体となるコーディネート　～

～　② 福祉事業所が契約主体となるコーディネート　～



※平成 27 年度は、役務作業等を主体に②に注力した。

（２）神戸ふれあい工房の運営

兵庫セルプセンターが運営受託をして 12 年目となった今年度は、神戸市役所２号館へ移転し、１周年を迎えた。年間総売上額は前年度を若干下回る実績となったが、フェア等の企画・インターネット販売・バザーイベント等と連携した販売活動を展開し、前年度より営業日数が少ない状況の中で、2,300 万を超える売上を達成することが出来た。その中で、初めての試みとして、店頭でお昼休みの時間帯に限り、ドリップコーヒーの試飲及び販売を一定期間実施した結果、リピーターの獲得につながる機会となった。

店舗入口にお勧め品や季節商品を展示販売するコーナーを展開することで、店頭売上や各種記念品の受注に結びつく実績もあり、アンテナショップとしての機能をより発展させて行く方向性を示すことが出来たと考える。平成 28 年３月には、神戸ふれあい工房全体会議の開催により、参画事業所の方々との貴重な意見交換や情報収集の機会となり、次年度の店舗運営の計画や課題の整理等にもつながった。

～　各種フェアの広報ポスター　～

（3）インターネットを活用した販路拡大

インターネットショップ「＋ＮＵＫＵＭＯＲＩ」を、インターネットを通じた販売チャネルとしてだけでなく、営業活動時に＋ＮＵＫＵＭＯＲＩのパンフレット等を切り口とした提案活動を活用することで下請け作業等の他案件の獲得にも繋がる事例もあり、当サイトを運営・活用することで県内授産商品の販路拡大と仕事の確保に繋がっている。

また、株式会社電通西日本と連携し、「＋ＮＵＫＵＭＯＲＩ」をテーマとして神戸新聞全面に広告「神戸の良い未来を考える日」を掲載した。当該広告は神戸新聞広告賞において最優秀賞を受賞し、サイトアクセスの向上と商品売上増に繋がった。

その他にも、平成 27 年度「こんにちは、ひょうごっこ」　ベビーカタログに、＋NUKUMORI 商品を

掲載することで、より多くの方々への周知 PR の機会となった。

更には、当サイトと県内授産商品の質の向上を目的に、当法人配置の技術向上指導員及び他団体に配置された技術向上指導員と連携し、掲載商品増加のための施設への提案活動や商品改善にも取り組んだ。

～　株式会社電通西日本「神戸のいい未来を考える日」　＋NUKUMORI 全面広告　～

（平成 27 年 11 月 30 日神戸新聞朝刊より）

～　平成 27 年度「こんにちは、ひょうごっこ」　ベビーカタログへの掲載　～

（4）イベント・外販バザー等による販売活動

兵庫セルプセンター・神戸ふれあい工房・＋NUKUMORI 等を通じて、各地でのバザーやイベント等の実施または販売活動を展開した。平成 28 年度に兵庫セルプセンター・神戸ふれあい工房・＋NUKUMORI 等で実施したイベント・外販バザー実績は下記の通りである。

■平成 28 年度外販バザー等実績	1,542,768 円
■実施回数	全 46 回

（5）兵庫・神戸ブランド商品（Japanese SAKE cake）の販路拡大

「新しい神戸土産」として市場流通を目指し、平成 26 年度に兵庫県中小企業団体中央会の社会貢献事業の一環により、企業（剣菱酒造、シンケールス、ロータスデザインスタジオ）と福祉のコラボレーションから誕生した「Japanese SAKE cake」を有馬温泉の旅館やお土産物店等での販売機会の拡大を実施した結果、年間で 2,300 個を超える販売数となった。加えて、「五つ星ひょうご 2015」にエントリー及び選定されたことで、次年度の新規販売取引等の引き合いにもつながった。平成 27 年度に「Japanese SAKE cake」の主な販売取引先は次の通りである。

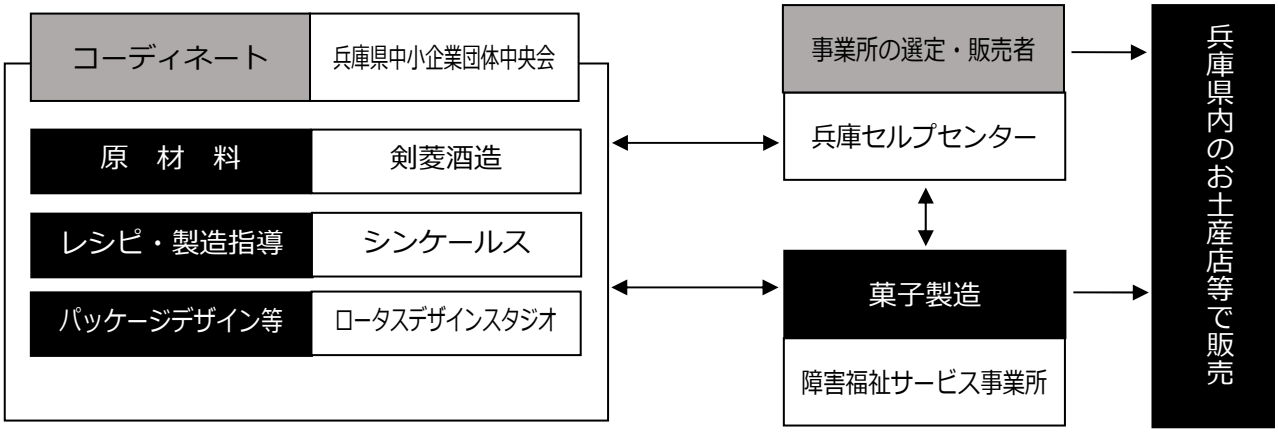
①イズミヤ神戸ハーバーランド店	②吉高屋
③ねぎや陵楓閣	④竹取亭円山
⑤元湯龍泉閣	⑥有馬ロイヤルホテル
⑦兆楽	⑧有馬グランドホテル
⑨兵衛向陽閣	⑩瑞宝園
⑪アントレマルシェ（新神戸駅内）	⑫神戸空港ターミナルマリンエアー
⑬有馬温泉観光案内所（さんちか）	⑭ひょうごふるさと館（そごう新館）
⑮神戸小売酒販組合	⑯その他企業・団体等

～　販売取引先での「Japanese SAKE cake」陳列写真（一部）　～

有馬温泉観光案内所（さんちか）

有馬グランドホテル

～　企業とのコラボレーション　～



※）市場流通支援プログラム事業（兵庫県）、社会貢献事業（兵庫県中小企業団体中央会）を活用

2　研修及び技術指導等

（1）製造技術指導

企業と福祉のコラボレーションから誕生した「Japanese SAKE cake」の第 2 弾として、「Japanese SAKE cake “cup style”」（むぎのめ作業所、ドリーム＆YUME 作業所が製造）の商品化に取り組んだ。開発する過程で、製造事業所に対して企業等の専門家と連携し、製造指導や衛生指導等の支援を実施した。

～　製造指導時の様子及び開発商品　～

（2）技術指導・技能発表会「スウィーツ甲子園」の実施

授産商品の一般市場流通を目指す取り組みとして専門家のアドバイス・審査を通じて、よりよい製品の製造や、継続・安定した生産活動の実現を目的に、第 7 回スウィーツ甲子園を開催した。関西府県の行政、中間支援団体と連携し、他府県事業所の参加を推進することで、関西広域での商品コンテストとして、メディアを通じた一般消費者への授産商品の認知向上を図ることで販路拡大につなげて行くことが出来た。兵庫県内の予選会を経て、よりレベルの高い広域での本選を目指すというステップを参加事業所と共有することで、次年度以降のベンチマークを設定し、本選進出を目標に、商品等を改善するといった流れを作ることが出来たと考えている。また、広く県内事業所の製品に対する改善点等の気付き

を提供することが出来、県内事業所の底上げに繋がると考える。

他府県（京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、富山県）の審査を経た先進的商品を集めることで、製品製造等の情報交換や交流の機会ともなった。

第７回スウィーツ甲子園関西大会エントリー府県・商品・事業所は下記の通りである。

①	兵庫県	赤穂みかんパウンドケーキ	げんぶ（赤穂市）
②	京都府	茶処シュトーレン	ワーキングセンターいずみ
③	大阪府	なかまのせんべい本舗	第二さつき作業所
④	奈良県	花橘の薫	カフェぷらっと
⑤	和歌山県	紀州五色バウム	おかし工房桜和
⑥	鳥取県	彩りつつみ～梨花～	おかし工房トリシエ
⑦	徳島県	いもくりタルト	自立支援センターあぷろーち
⑧	富山県	富山ブラックバーム	BROS

（グランプリは紀州五色バウム、準グランプリは富山ブラックバームが受賞）

～　エントリー商品写真（一部）　～

紀州五色バウム

富山ブラックバーム

いもくりタルト

赤穂みかんパウンドケーキ

～　第７回スウィーツ甲子園関西大会時の様子　～

スウィーツ甲子園関西大会後には、エントリー商品等の販売促進活動のひとつとして、西宮名塩サービスエリア（下り）地域の窓コーナーにて、商品の展示（平成 27 年 12 月開始）及び販売（平成 28 年 1 月開始）を実施した。約 3 ヶ月で、900 個を超える商品販売につながった。

～　西宮名塩サービスエリアでの展示及び販売写真　～

（３）専門家による指導改善アドバイス

これまでの兵庫セルプセンターの活動からアドバイザーになり得る方をリストアップし、就任要請をし、各分野における専門家派遣を望む事業所からの派遣申請書をもとに、派遣アドバイザーの選定とスケジュール調整を行い、製菓技術やパッケージデザイン等の専門家（4 名）を派遣等（全 10 回）することで、事業所のモチベーションアップと商品力向上の寄与するものとなった。また、事業所からのニーズも高い、食品・非食品の商品表示について、専門家によるチェック及び改善指導（42 商品・32 事業所）を実施した。

３　障害福祉サービス事業（就労継続支援 B 型事業所「マイ・ワーク SELP」）

平成 25 年 3 月に開設した自主事業「マイ・ワークＳＥＬＰ」は、3 年目の年度を迎えた。

利用者は最大 25 名（登録者）に増え、それぞれの利用者ニーズに応じた事業展開が求められていく年度であった。

サテライトであるカフェセルプ（兵庫県庁 2 号館 1 階）は、平成 22 年 4 月より障害がある方々のインターンシップ研修等に取り組んできましたが、平成 27 年 8 月末を持ってカフェセルプの店舗運営業務を終了した。同じくサテライトである神戸ふれあい工房では、接客販売等を通じて、就労に必要な経験の習得ならびに技術支援の提供を行った。職場実習を通じて、マイ・ワーク SELP を利用する障害メンバーから、A 型に 1 名・就労に 1 名つながった。

開設当初からのコンセプトであった、「多様な働き方」の支援にはまだ課題解決や改善が残るが、今年度は、古湊事業所を中心に、商品販売会や下請け作業等において、コーディネーター役も担い、複数事業所との「共同販売」や「共同受注」など、本来の兵庫セルプセンターの中間支援の要素を活かした事業を展開することが出来た。

４　旅館業等における障害者雇用のためのインターンシップ事業

兵庫県を代表する観光地である有馬温泉等において、障害者が旅館業を中心に幅広い分野で「おもてなし」の心構えを学ぶことにより、一般就労への移行を促進することを目的に、旅館業等における障害者雇用のためのインターンシップ事業（主催：兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合）の実施に運営協力を開始して 4 回目となった。今回の企画は、有馬温泉街企業と就労支援事業所との協働による「有馬温泉ゆけむりインターンシップ SCHOOL 実行委員会」を形成し、有馬温泉街を「学び舎」として障害のある人たちと企業及び就労支援関係者が共に「障害のある人たちが活躍する温泉街」の将来像を描き、企業と福祉の連携事業を通じて多様な支援のあり方を検討しながら実践した。実行委員会の中で生まれた企画「誰もが、安心して、快適に楽しめる温泉の街」を目指した活動を、さらに先進的・持続可能なものとして発展させていくために、毎年 2 月 1 日を「有馬温泉ユニバーサルの日」として定めて取り組んでいくこととした。　今年度は、過去最高の 16 名の障害当事者の参加があり、旅館及び観光案内、リネン工場、炭酸煎餅工場での職場体験を実施することが出来た。

～　職業体験　～

旅館での風呂場清掃

旅館での客室清掃

炭酸煎餅工場でのシーラー作業

～　湯けむりマルシェ・体験教室　～

おでん等のふるまいや商品販売

蕎麦打ち体験教室

～　２月１日「有馬ユニバーサルの日」チラシ　～

5　会員加入状況

財政状況の理由等により、事業所ごとの会員加入から法人から代表して 1 事業所が加入する等の事業所が増加傾向にあり、前年度と比較すると会員数が減少となった。平成 27 年度の会員加入状況は下記の通りである。

■平成 27 年度正会員	460,000 円	92 口　92 会員
■平成 27 年度協力会員	167,000 円	5 会員

6　他団体との共同・連携・協力

行政事業・自主事業・障害福祉サービス事業等の事業推進に際し、各団体との連携協力（上記事業を除く）を実施した。平成 27 年度に共同・連携・協力等した団体等は下記の通りである。（順不同）

- 兵庫県社会就労センター協議会
- 日本セルプセンター
- 兵庫県社会福祉協議会
- 認定 NPO 法人トゥギャザー
- NPO 法人生涯学習サポート兵庫
- ひめじ授産振興センターレガーレ
- 関西広域ネットワーク（兵庫県・大阪府・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県・鳥取県・徳島県・富山県の行政担当者及び中間支援団体が参画）
- ジョブステーション西宮
- 中央区自立支援協議会

7　情報発信や事業・商品等の案内及び紹介

ホームページ・Facebook・メール配信等を活用し、各種イベント・セミナー案内や募集、新商品入荷情報等を広く発信した。また、他団体主催及び実施等の広報活動にも協力した。

～　情報発信活動紹介（一部）　～

ホームページ（www.hyogo-selp.jp/）

Facebook（www.facebook.com/hyogoselp/）

平成27年度　活動計算書

平成27/04/01～平成28/03/31

特定非営利活動法人　兵庫セルプセンター

円

科目	金　額		
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費・入会金			
正会員受取会費	460,000		
協力会員受取会費	167,000		
受取会費・入会金合計		627,000	
受取寄付金			
受取寄付金	619,340		
受取寄付金合計		619,340	
受取助成金等			
受取助成金等合計		0	
事業収益			
販路拡大事業収益	48,554,417		
受託料収益	46,166,990		
販売収益	4,284,749		
作業収益	2,138,957		
訓練等給付費収益	17,198,232		
参加料収益	1,808,192		
事業収益合計		120,151,537	
その他収益			
受取利息	3,993		
雑収益	124,728		
その他収益合計		128,721	
経常収益合計			121,526,598
(2)経常費用			
事業費			
【人件費】			
給料手当	23,862,702		
通勤費	923,460		
法定福利費	2,844,482		
福利厚生費	225,732		
【人件費計】		27,856,376	
【その他費用】			
商品仕入高	25,945,575		
利用者工賃	1,346,607		
旅費交通費	1,716,936		
通信運搬費	2,548,944		
会議費	160,233		
消耗什器備品費	624,850		
広告宣伝費	116,640		
販売促進費	9,642,560		
消耗品費	1,134,538		
修繕費	187,425		
新聞図書費	6,128		
印刷製本費	1,463,630		
水道光熱費	275,364		
地代家賃	2,626,070		
賃借料	1,439,170		
会場費	79,700		
保険料	436,030		
諸会費	16,360		
諸謝金	670,506		
租税公課	2,444,650		
支払手数料	1,924,185		
支払寄付金	20,929		
業務委託費	28,782,901		
雑費	64,129		
減価償却費	1,099,664		
【その他費用計】		84,773,724	
事業費合計		112,630,100	

平成27年度　活動計算書

平成27/04/01～平成28/03/31

特定非営利活動法人　兵庫セルプセンター

円

科目	金　額		
管理費			
【人件費】			
給料手当	1,320,000		
福利厚生費	53,123		
【人件費計】		1,373,123	
【その他費用】			
旅費交通費	177,470		
通信運搬費	139,262		
会議費	257,125		
地代家賃	211,798		
会場費	17,950		
保険料	15,880		
諸会費	28,972		
交際費	10,800		
諸謝金	11,137		
租税公課	600		
支払手数料	28,591		
業務委託費	516,000		
【その他費用計】		1,415,585	
管理費合計		2,788,708	
経常費用計			115,418,808
当期経常増減額			6,107,790
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
固定資産売却益			
過年度損益修正益	669,912		
経常外収益合計		669,912	
(2)経常外費用			
雑損失	20,771		
過年度損益修正損	1,818,967		
固定資産除却損	71,810		
経常外費用計		1,911,548	
当期経常外増減額			-1,241,636
税引前当期正味財産増減額			4,866,154
法人税、住民税及び事業税	949,100		
当期正味財産増減額			3,917,054
前期繰越正味財産額			20,878,313
次期繰越正味財産額			24,795,367